バラ作りの面白さ

大阪大学工学部造船工学科　笹　島　秀　雄

三人衆のなかに数えられて，一ぱしのバラマニヤのように聞こえるけれども，堤，伊藤の両氏に比べると，その閲歴，腕前ともに大差があり，いわば駈出しクラスに属するのが私である．堤さんは数年前に私をこの道に引込んだ人であり伊藤さんは関西三名人の一人で家が近いせいもあって，色々と指導を仰いでいる人である．年をとってからこんなに楽しい遊びのあることを教えてくれた両先生には本当に感謝している．

バラいじりの面白さは何処にあるのかと聞かれ，さて何だろうかと改めて自問してみると，花がきれいだの，種類が多いだのといった表面的なことではないらしい．美しくないよりは美しい方に傾くのが当り前だが，趣味ともなると必ずしも大切な条件ではないようである．美とはおよそ関係のなさそうな山草にさえ凝る人が少なくないし，私自身の経験でも花の見事さからいえばバラよりはボタンの方が上である．にも拘らずバラに取りつかれた理由は，どうやら次のようなことらしい．

バラほど生長のテンポが速く，次から次へと新芽が伸びて花が着くものは，ちょっと外には見当らない．それだけに花の良否は手入れの積分値の大小に比例するといってもよい．そんなに手を入れることがあるかと思われるかも知れないが，バラでは一年中手の抜ける時期がないと答えて誤りではない．葉のある期間，年の2/3ほどは平均週一回程度の薬剤撒布をしなければ病菌か虫にやられるし，日照りが続けば夏はもちろん，冬でも水やりが必要だし，時々は肥料も施さねばならない．葉のない冬にも元肥，植換え，マルチング（地表を藁などの有機物で覆うこと），消毒，剪定と結構忙しい．そのうえ手近にあるからできることではあるけれど，毎日見廻って病害虫の発生に注意し，シュート（根元から出る太い芽）の処理が遅れないようになどの仕事もある．――実はこの見廻りは楽しくて仕事のうちに入れるのは嘘かもしれない．こう書いてくると，まるで楽しみではなく苦しみを求めているように思われそうだが，この苦労があればこそ楽しみも湧くものであるらしく，バラの面白さの第一はこの苦労にあるといえる．そういえば，私らには縁のない話だがもの言う花をひそかに愛でられる仁だって，しょっちゅう手が掛ればこそ楽しみなのであって，手入れの必要が全然なければ，直ぐ秋風が吹くことになるのではあるまいか．苦しみと楽しみは隣合せの存在らしい．

面白さの第二はバラ作りのむづかしさにある何事によらず，奥がみえてしまえば興味の大半は失われる．みえねばこその面白さである．万年ビギナーの陰口をよそに，せっせと通われるゴルフマニヤが少なくないと聞くが，これも仲々上達しないからであろう．同様に，バラも努力だけでは済まない何かがあって，思うほど容易には腕が上らないところが厭きを感じさせない理由に違いない．本を読んでも，人に聞いても，いま一つ腹に納まるところまではいかないものである．

度胸のいる剪定

毎年秋の剪定では，鋏を握って木の前で思案することが多い．互に矛盾する色々のファクターが頭の中に混在して断がつかないのである．エイとばかり思い切っても，正解であることは少ない．

第三の楽しみはコンテストの入賞である．春秋二回のバラ展で半年の決算が競われる．前日から目星をつけてある花を朝早く見廻って一本一本確認する．これならと思う枝に鋏を入れる時には思わず手が慄えるほどの緊張振りである会場までの輸送もまさに貴重品扱いで，電車の棚に乗せられない時には，段ボールの箱を我身でガードしてやらなければならない．こうして持寄った花の競技だけに，たとえマグレ当りの要素の多い一本花競技のような種目であっても一等にでも入ろうものならこれを実力かと誤信して悦に入る．まことにたわいもないことだが趣味とはこうしたものだろう．

しかし花の良さは物指しで測って数値が出るような性質のものでないだけに，審査にからむつまらない話が耳に入ったり，見苦しいマナーの人が目についたりで，近頃はこの方の楽しみに少し影が差してきたように感じられる．気の合った同士で，この花を見てくれといった気分のコンテストになればと念じているが，無理なのかも知れない．

原　稿　公　募

Vol. 25 No. 1（'73 1月号）より論文の外に次の各項目を設ける事になりました．読者諸氏よりの投稿をお待ち致しております。

1. 随　筆

思いつく侭に政治，経済，社会等について気楽に書いて頂きたく存じます．

2. 私の趣味

余暇を見つけては趣味に没頭されておられる方に，その動機（出会い）エピソード，感激，又同好の志への呼びかけ等を書いて頂くコーナです．

3. 苦しかったあの頃

誰でもが一度は経験する苦しい時期，当時の経済事情社会事情等も含め苦しかったあの頃の体験を通じて，若い人々に提言して頂くコーナです．

その他角帽時代，企業の方々には「駈出しの頃」「企業紹介」等もどしどし掲載したいと考えております．詳しくは，当協会編集部迄お問い合せ下さい．